

2007年

報告内容

作成日：2008年1月5日

作成者：ABMS事務局

（1）2007年の活動説明

- ① 刺繍創作コンテスト開催に向けて、今後の基盤構築
（後援団体アクアからの自立～ABMS主導の体制確立への地盤固め）
- ② 現地で協力をいただけるボランティアについて（連絡役／通訳）
- ③ 翻訳協力者の確保（日本国内&ベトナム現地）
- ④ フェアトレード支援センターの確定
- ⑤ センター運営支援のためのフェアトレード製品の発注と購入
- ⑥ センター運営支援のためのフェアトレード製品の販売
（店舗・バザー）
- ⑦ 縫製・刺繍備品の支援充実
- ⑧ 作品展示開催先
- ⑨ 国内ボランティアスタッフのご紹介
- ⑩ 外部からの支援団体ご紹介
- ⑪ 第6回刺繍創作コンテストの実施

（2）2008年の活動予定（スケジュール）

（3）2007年に寄付金提供者・団体の一覧

ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

「アジアの文化を守り育てる会」の支援活動も今年で8年目を迎えます。

とくに昨年、2007年はベトナム現地での協力者に恵まれるなど、順調に歩みを進めています。

いよいよこれからが活動の本番です。ここまでたどり着けたのも、これまで支援を寄せてくださる皆さまのおかげと、感謝とお礼の気持ちでいっぱいです。

民間協力団体アクア後援からの自立という節目を向かえましたが、一步一步 確かめながら進んでいます。また、一つ一つがはじめての経験のことが多く、至らないことばかりですが、心をこめて、様々な人や物と誠実に向き合う中で、善き方向を目指し努力していきたいと思っています。

何よりも、ベトナムの少女たちの笑顔があふれるかかわり合いになれるようお願い、お力を添えてくださいますよう、どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。

以下、今年度の活動内容と会計報告です。

皆さまの新年が素晴らしい日々となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

「アジアの文化を守り育てる会」

代表 中平 順子

1) 2007年の活動概要

2007年度は、以下11点の内容に基づいた活動をしてきました。

- ① 刺繍創作コンテスト開催に向けて、今後の基盤構築
(後援団体アクアからの自立～ABMS 主導の体制確立への地盤固め)
- ② 現地で協力をいただけるボランティアについて (連絡役/通訳)
- ③ 翻訳協力者の確保 (日本国内&ベトナム現地)
- ④ フェアトレード支援センターの確定
- ⑤ センター運営支援のためのフェアトレード製品の発注と購入
- ⑥ センター運営支援のためのフェアトレード製品の販売 (店舗・バザー)
- ⑦ 縫製・刺繍備品の支援充実
- ⑧ 作品展示開催先
- ⑨ 国内ボランティアスタッフのご紹介
- ⑩ 外部からの支援団体ご紹介
- ⑪ 第6回刺繍創作コンテストの実施

【①～⑩までの具体的な内容】

① 刺繍創作コンテスト開催に向けて、今後の基盤構築 (ABMS 主導体制へ)

これまでの刺繍創作コンテストは、民間協力団体アクアの後援により、2001年より6年間という期間限定のもと開催してきました。

この6年間は、開催資金の一部援助と人材的補助として、アクアのベトナム・ブランチスタッフによる協力により、コンテストを開催。当初の予定どおり、後援 期間が終了するにあたり、一昨年 (2006年) 12月にはホーチミン市のグランドホテル・パーティー会場を借りて「刺繍創作コンテスト記念交流パーティー」を開催しました (詳細は昨年の報告書をご参照ください)。

その後、2007年度のコンテスト開催に向けての話し合いをアクアと重ね、人材協力の終了が決定され、今後はコンテスト開催にあたっての後援として年間10万円の支援金をいただけることになりました。

今後のコンテスト開催では、これまでアクアのスタッフにお願いをしていた②、③に該当する点を ABMS 主導で行うことになりました。

② 現地で協力をいただけるボランティアについて（連絡役／通訳）

これまで、各センターへの連絡はアクアのベトナム・ブランチによるものでしたが、この連絡作業を今後は ABMS 主導で行うこととなります。

それに伴い、ベトナム語通訳をお願いできるスタッフを確保するため、2007 年 6 月の中間訪問で話し合い、在ホーチミンの方が引き受けくださり、ベトナム国内からのセンターへの連絡役をお願いすることができました。現地でボランティアをお願いする内容として、センターへの刺繍創作コンテスト開催の事前 周知、センターへの参加人数など諸々の確認連絡、刺繍コンテスト作品応募用の生地配布（生地は ABMS 事務局で準備する）、などです。

今後はこちらで翻訳した書類などを送り、その都度対応していただきます。

③ 翻訳協力者について（日本国内&ベトナム現地）

刺繍創作コンテスト開催にあたって、様々な文書の翻訳が必要です。

例えば、コンテスト参加に関する規定文やコンテスト開催の案内文（当日の招待状含め）、作品に寄せられた作者のコメント文、コンテスト当日に配布する賞状 などなど、これまではアクア・スタッフが翻訳をしてくださっていましたが、今後は ABMS で対応することになりました。

上記の②、③は、今年度の最大の課題でしたが、6 月の中間訪問で現地の方のご協力を得ることができ、また、翻訳のほうもご協力いただける方と出会うことができました。

④ フェアトレード支援センターの確定

支援開始当初より、F.F.S.C 傘下のピンチューセンター／タンフーンセンターを中心にフェアトレード製品の発注やセンターの自立運営として始められた製品の購入をしてきました。

初めは少量の製作だったピンチューセンターでしたが、ここ 2 年間の間に縫製専用の教室やミンシンなどを設置し、数人の製品製作担当者を配置するまでになり、そこで作られた製品を直接 F.F.S.C で購入できるようになるなど、目覚ましい発展を遂げました。

そこで、ABMS では、これまでピンチューセンターを中心にフェアトレード製品の発注を行ってきた路線を、今後はピンチューに関しては F.F.S.C で センターの製品を購入することにし、ABMS 独自のフェアトレード製品の発注をほかのセンターに依頼することにしました。

2006 年 12 月より、これまでコンテストに参加してきたセンターや新しく刺繍コンテストに参加申し込みをしてきたセンターなどを訪問し、センターの自立運営／子どもたちの母親の自立手段として縫製・刺繍製品製作を必要としているところを調査しました。その結果、コンテスト開催当初よりかわりを持っているレミンスアンセンター、タンフーンセンター、ピンアンセンター、そしてキエンザンセンターの計 4 ヲ所を中心に、センター運営支援のためのフェアトレード製品開発を進めていくことになりました。

⑤ センター運営支援のためのフェアトレード製品の発注と購入内容

■発注製作製品の内容

タンフーンセンター：エプロン製作

ピンチューセンター：クッションカバー、黒ポーチ、その他センター製作製品購入

レミンスアンセンター：刺繍絵製作、ランチョンマット

キエンザンセンター：刺繍入りハンドタオル、刺繍ピロケース、刺繍入りハンカチ

■市販雑貨製品

センター製作製品の販売だけでは十分な資金を得ることが難しいため、ABMSではホーチミン市内で販売されている市販雑貨商品の買い付けも行いました。

⑥ センター運営支援のためのフェアトレード製品の販売（店舗・バザー）

【ABMS 支援製品販売を手がけてくださった店舗】

- ・ 千葉県船橋市北習志野 棚屋さん（2007年3月～2008年3月まで）

【今後、ABMS 支援製品販売を手がけてくださる店舗】

- ・ 群馬県沼田市 ホテルヴェラビータ内

この1年半ほどの間に少しずつ始めてきました、ABMSの支援製品販売。これまでは、中平順子の講演先やカフェ土瑠茶のみの販売でしたが、7年目のいま、2ヵ所ふえました。ひとつは、常時販売店舗として、北習志野市の『棚屋』さんが2007年3月より2008年までの1年間、無料で棚をレンタル、販売代理を引き受けてくださいました。また、11月には、支援開始当初よりABMSの活動に心を寄せてくださっているH様の店舗にて、ABMS支援製品販売ブースを設置してくださることになりました。

皆さまのご協力・お気持ちに感謝するとともに、今後は支援を第1の目的としながらも、より販売しやすい製品の開発・購入に力を入れたいと思います。まだまだ試行錯誤、足りない点が多いフェアトレードですが、「こんなものがあたらいいな」というアイデアなど、ABMS事務局までお知らせください。

また、上記販売店舗以外として、2007年は以下の場所でバザーに参加し、会の広報と販売をしてきました。

- ・ 聖フランシスコ幼稚園（東京都葛飾区） 2007年10月
- ・ 東京都東淵江小学校（東京都葛飾区） 2007年11月

⑦ 縫製・刺繍備品の支援充実

昨年度の訪問で、主に縫製の職業訓練所であるタンフーンセンターで、ミシン備品、練習用の生地、糸などが足りないことが判明しました。そして、2006年12月以降にABMSホームページや個人的な手ずるの寄付を呼びかけたところ、以下の内容で備品が寄せられました。

個人の方より：ボタン、ファスナー、生地、ミシン糸

広瀬小学校より：刺繍糸一式

今後も引き続き、これらの備品の寄付をいただけたらとても助かります。何卒よろしく願いいたします。

⑧ 作品展示開催先

2007年度の作品の展示会は、以下の場所で開催していただきました。

お引き受けいただいた関係者の皆さま、ありがとうございました。

- ・ さいたま市 ギャラリー季 2007年3月

第5回刺繍作品の一部を展示、劉宏軍さんの笛の演奏による、資金集めのチャリティー・コンサートを開催。また、ベトナム製品の販売もあわせてさせていただきました。

・ ホテルヴェラビーター会議室にて 2007年8月
ABMS報告と展示会内での販売

・ 千葉県松戸市女性センター

「出番 da 松戸」市民活動紹介講座にて、会の活動広報と作品の一部展示

※こちらのイベントでは、支援に関する講演をさせていただきました。このときにいただいた講演料 8,000 円は、ABMS 活動資金への寄付として計上しました。

・ 島根県 広瀬小学校

「ベトナムを知る」というテーマのもと、宮森健次先生指導の元、学校授業の取り組みとして第 4 回目のコンテスト作品展示会を生徒たちが開催してくれました。後日、開催に携わった生徒より感想文が届きました。その素敵な感想を、コンテスト時に、河村さんの司会の中で、ベトナムの少女たちに発表しました。日本の子どもたちが、刺繍作品に感動しあえたことは、すばらしい出会いをつくることができたと、確信しました。

⑨ 国内ボランティアスタッフの紹介

この冬までに以下の方々がボランティアスタッフとして当会の活動に参加 (50 音順)

※個人名につきネットでは非公開

⑩ 外部からの支援寄付団体 ご紹介

これまでに、外部からの支援・後援金として、千葉県松戸市にある民間協力団体アクア、群馬県沼田市のソロプチミスト利根沼田(～2005 年まで)を中心に寄付をいただく。2007 年は、引き続き刺繍コンテスト開催後援資金としてアクアより 10 万円の後援金。外部団体として JR 東日本労働組合より 10 万円を、そして国際ソロプチミスト志木より 2 万円の寄付いただきました。

⑪ 第6回刺繍創作コンテストの実施

2007 年 12 月 2 日(日)、ホーチミン市のアンミンろう学校講堂を借りて、「第 6 回刺繍創作コンテスト」を開催。

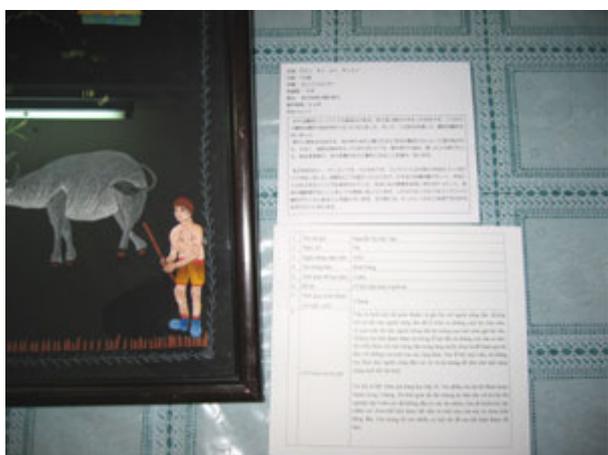
今年の参加者は、レミンスアンセンター、ピントーセンター、ピンアンセンター、ピンフンセンターより計 13 名の応募がありました。コンテスト当日の参加者は、当日招待者や見学者も含めて全部で 37 名。午前 10 時に始まり、ひとりひとりの作品を紹介した上で最後までがんばって創り上げたことを表彰する賞状と参加賞(手作りの針山、日本製の刺繍針と糸切りはさみ、耐熱性のマチ針のセット、ディズニーの文房具、子ども用絵本をそれぞれに 1 冊、お絵かき帳を入れる大きなイラスト付バッグ)を全員に授与しました。

その後、15 歳未満部門・16 歳以上部門のコンテスト受賞者を発表。受賞者には、参加賞以外に賞状と賞金が贈られたほか、指導にあたった教師にも「指導者賞」として賞金を授与。この日はあまりレクリレーションを設けられなかったのですが、フェアトレード製品開発でキャラクター提供の協力をいただいている絵本作家まついのりこさんの『ごきげんのわるいコックさん』(まついのりこ作・童心社刊)を上演。とてももりあがった楽しい時間を過ごすことができました。次年度のコンテストでは、紙芝居上演のほか、子どもたちがもっと楽しめるレクリレーションの時間を増やせるよう、時間を設けたいです。

【コンテスト当日の様子】



ビンアンセンターの生徒たち



会場では、日本語・ベトナム語両方で作品コメント文も展示しています。



ほかのセンターの子どもたちの作品を見る参加者たち



2007年の参加賞（絵本、刺繍糸・糸きりはさみ・刺繍針・ピンクッション・布バック・下敷きなど）



日本の支援者の方がピンクッションを作ってくださいました。
みんなとても喜んでいました。



レクリエーションとして紙芝居も上演しました。



紙芝居の問いかけに対して、手を挙げて答えてくれる子どもたち。



みんなが楽しんでくれたので、よかったです。



2007年の参加者集合写真



当日の参加者全員で記念撮影しました。